

2023年冬 TC 技術検定 2級使用情報制作ディレクション[DR]実技試験の出題意図

ディレクション試験の実技問題は、「スケジュール管理」、「説明書の制作方法の資料作成」、「目次作成」、「Web ページのチェック項目と観点」の4課題が出題された。問題形式は、従来どおり、計算、選択式、記述と揃っていたが、難易度の異なる課題が取り混ぜて出題されているので、時間の配分に注意が必要である。また、学科問題では出題できない応用力が問われているので、記憶力ではなく実務経験が必要なものばかりである。

【課題1】

大人向け組み立てプラネタリウムのマニュアル制作が題材。ディレクションの課題としては標準的な課題で、担当者の生産性の表から、ディレクターとして生産性の高い担当者を選択する。担当者別の作業量と先行作業の表から、最短の作業日数の計算、途中で作業追加による日数変更の計算である。どちらも、筆算で計算できる桁数のため、落ち着いて計算すれば、解答できる。

【課題2】

エアコンの据付設置説明書の作り方が題材。既存の説明書に対する改善要望に対して、対処案を当てはめていく。改善要望と対処案のキーワードを突き合わせ、該当する目次を探すことで解答できる。

【課題3】

コーヒーマシンに添付する印刷マニュアルの目次構成が題材。コーヒーマシンの図、製品コンセプトと機能説明から、大タイトル案の内容を見て、目次構成案を埋めていく。ただし、タイトル案は、単に移すだけでなく、条件に従って書き直しが必要である。書き換えを忘れなければ解答できる。

【課題4】

DTP 編集から Web ページ編集へ移行するためのレイアウトチェックが題材。対象の製品はとくになく、制作会社と委託先との打ち合わせメモを見ながら、印刷媒体と Web ページとのチェック項目の違いを指摘する。両方の媒体を扱ったことがないと難しく感じるかもしれないが、利用者の立場で考えても解答できる。

2023 年冬 TC 技術検定 2 級使用情報制作実務[MP] 実技試験の出題意図

制作実務試験の実技は、例年通り「製品型式の扱い」「ページ構成・台割」「ライティング」「校正」の 4 課題で、どれも実務的な出題であった。問題形式は、ライティングだけでなく、情報の読み取りとルールが発見、読者を絞った特定の条件でのライティングなど、制作実務に欠かせないスキルが含まれていた。また、学科問題では出題できない応用力が問われているので、記憶力ではなく実務経験が必要なものばかりである。

【課題 1】

クラウドストレージサービスの冊子説明書を Web に掲載することが題材。「冊子の目次と、Web コンテンツの構成を比較し、掲載方針に従って見出しを作成することと、検索向上のためのキーワード設定が、各設問である。見出しも、キーワード設定も、Web の特性が理解できていれば解答できる。

【課題 2】

日英の印刷媒体を合本するページ割が題材。日本語版を 1 ページ目から、英語版は天地を逆転して最終ページから割り付ける。ただし、共通の内容は、日英の境界ページに割り付ける。これらの条件から、各ページに何を割り付けるか全 40 ページに何が入るか指定する。共通ページの位置と合本のイメージができれば、解答できる。

【課題 3】

子供向け料理レシピカードの作成が題材。複数提示されたレシピカードから、予算や条件から実際に作る料理を選択する。さらに、子供が読めるように、打ち合わせメモと執筆条件から、升目に入るようレシピカードを作成する。ただし、使用可能な漢字の制限、単位の書き方、材料と調味料の記載順、升目の使い方など、細かい指示に従って記述する。一つでも升目がずれると書き直さなくてはならないので、かなり注意力が必要だが、解答できる。

【課題 4】

交通系 IC カードの利用者向け案内の校正が題材。執筆ルール、校正の方針と、変更点があるので、それらを合わせて、元原稿で指示すべき箇所を探す。校正の形式は、従来の出題と同じパターンであり、内容に惑わされず、普段の業務上の注意力があれば解答できる。